

四十四期生入学式 式辞

本日、希望に輝いた表情の皆さんを、新入生として迎えられることを大変嬉しく思います。44期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さんに、中学校生活で大切にしてほしいことを3点お話ししたいと思います。それは「つながり」と「学習」と「自立」です。

皆さんは新しい友達と出会うことを楽しみに行っていたでしょう。学校は人との良いつながり方を学ぶ場です。良いつながりとはお互いが信頼しあえるつながりです。安心して話せる友達関係や一人ひとりが自分を素直に出せるクラスが皆さんを成長させるのです。学校が再開されたら、そんなつながりを作ってください。

次に学習についてです。皆さんの年代の半数以上の人は、AIの発展によって今はない職業に就職することになるだろう、と言われていきます。これからは「覚える力」だけでなく「考える力」「表現する力」「人とコミュニケーションする力」などを鍛えることが必要です。そのために授業では皆さんにどうしてそう考えたのかと理由を聞いたり、発表したり、といった学習活動もしていきます。

最後に自立についてです。皆さんは小さい時に三輪車に乗っていましたか。幼い頃はいつも見守ってくれる目がありました。自転車に乗るようになったときも初めは後ろを持ってもらったりして練習しましたね。でもそのうち自分一人の力でこいで進みたくなったと思います。一人でこぎ始めたとき、転ぶこともあったでしょうが、転び方を知り、その時の痛みを知ったことも大切な経験だったと思います。そのような経験をとおして皆さんは自転車に乗れるようになりました。

た。そして他の人が転んでいるところを見てもその痛みを想像できるようになりました。

自転車のことを人生全体に置き換えて考えると、皆さんはいまどの段階にありますか。何をするにもまだ常に後ろを誰かに持ってもらわないと不安な段階ですか？それともまさに自分でこぎ出そうとしているところですか？転んでも自分で何とかなる、と自信を持って進みつつあるでしょうか？

中学入学をきっかけに「自分で自分を育てる気持ち」を持ってほしいと思います。勉強、友だち関係、クラブ活動。いろいろな課題が皆さんの前に現れ、自分を育てる場面がでてきます。先生たちは、それを皆さん自身がクリアできるように全力でサポートします。皆さん自身が苦労した経験やそうして乗り越えたことが自信につながり、最終的には自分ひとりで社会を生きぬくための大きな力となります。中学時代にいろいろ

な課題から逃げずに正面から立ち向かう姿勢をぜひ身に着けてください。

保護者の皆さま、本日はお子さまのご入学、まことにおめでとうございます。全教職員、心を一つにして責任を持って本日よりお預かりいたします。どうか三年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

ご来賓の皆様、本日はお忙しい中、新入生の新しい門出にご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。今後とも本校生徒の成長ならびに本校教育へのご支援、ご協力をいただけるよう重ねてお願い申し上げます。

新入生の皆さん、現在、新型コロナウイルスの拡大により地球全体が大変な課題に直面していますが、人類はこれまでも様々な課題を克服してきました。それは絶え間ない学習と教育が世代を超えて受け継がれ、

人類の賢さが蓄積されてきたからなのです。皆さんも将来社会の一員として世の中に出ていく日がやってきます。よりよい社会を作るためしっかりと力をつける3年間としてください。

以上、皆さんへの大きな期待をこめ、私からの式辞といたします。

令和2年（2020年）4月7日

豊中市立第十三中学校 校長 成瀬 彰